

## 当法人の会員は次の3種とする

正会員を以って一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする

- (1)正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2)賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した個人及び団体
- (3)名誉会員 当法人に功勞のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

## 当法人へのご入会手続き並びに入会金や年会費及び退会について

- 当法人の会員として入会しようとする者は、当法人所定の入会申込書を提出するものとする。その申込書が当法人に到達した時に、その者は当法人の会員となる。
- 正会員は、理事会において別に定める入会金(2,000円)及び年会費(3,000円)を納入しなければならない。
- 賛助会員は、理事会において別に定める賛助会費を納入しなければならない。
- 会員は、別に定める退会届け出をすることにより、任意にいつでも退会することができる。

## 平成26年度の社員(会員)総会で議決された会費制度導入事案について

- ①平成26年度社員(会員)総会の最大の議案は、当法人が計画し実行する出羽三山信仰事業等の事業資金確保の方策でございました。こうした事由等により、当法人が会費制度を導入する具体的検討は避けられず、この点、定例行事の社員総会にご出席頂いた会員の皆様に対し、率直にご提案申し上げた次第でございます。その結果、提案事項へのご賛同を満場一致で可決を得たのでございます。この重要議決を全会員の皆様にご報告申し上げながら、会費制度導入による出羽三山信仰事業等への事業資金の確保の目途を得て、今後の円滑な事業活動の推進が可能になって参りましたこと、まことに有難いこととございました。何卒、斯様な経緯への理解とご協力を全会員の皆様をお願い申し上げたいと存じます。
- ②会費制度の詳細は、当法人への入会金を2,000円、そして年会費を3,000円とし、初回入会時のみ、入会金と年会費を合わせて5,000円のご入金をお願いすることと議決されました。ただし、定例行事へご出席頂いた会員の皆様の場合には、「年会費」と同じ意味合いの「当日会費」を定例行事の齋行当日にお納め頂いていることから、年会費分の3,000円を減免することに致します。この点、誤解なくご承知頂ければと存じます。

## 一般社団法人出羽三山羽黒山伏会ご入会の正会員に会員章をご謹呈！

真鍮製・金メッキ・シルク印刷3色・盛エポキシ樹脂・タイタック止め・サイズ横30mm



当法人の会員章を、入会金や年会費を納入した正会員の皆様にご謹呈致します。長方形スタイルの中心に羽黒山伏の守護神の獅子紋を据え、周囲の市松模様には羽黒山伏装束の摺衣(すりごろも)の濃紺色と紅花色、そして無垢浄衣の白色の3色をシンボルカラーとして配しました。誇りある羽黒山伏の面々に相応しい見栄え良くグレードの高いこの会員章を襟元や胸元につけて頂ければ、獅子奮迅の未来が新たに開けましようとの願いを込めた開運のデザインでございます。会員以外のお求めご希望の方々にも頒価(1,000円)にてご提供致します。本部事務局までお申し出下さい。

## ※会員章の獅子紋について

一般社団法人出羽三山羽黒山伏会の第一号の会員章でございます。

優れて誇りある羽黒山伏の会員の皆様の襟元や胸元に飾るに相応しい出来栄えだと、本部事務局では満足していますが皆様はどのように感じでしょうか。

バッジ中央に羽黒山伏の守護神の獅子を配しました。

獅子は百獣の王と呼ばれるライオンに似た想像上の獣ですが、エジプトのスフィンクス、古代インドのサンスクリット語の *sinha*(シンハ)の音訳シーツィが師子に変化して、中国では唐獅子、朝鮮では狛犬となり、日本にもこの獅子伝説が伝来した守護獣の獅子(守護神)でございます。

守護獣の獅子(守護神)は、その周囲に濃紺色と紅花色、そして無垢の白色に彩られた市松模様を配しました。

市松模様は、古墳時代の埴輪の服装の模様にもみられるという原始時代が発生といわれています。碁盤目状の格子の目を色違いにした模様は、羽黒山伏装束の摺衣(すりごろも)に表現され、その染色は、秋の峰の濃紺色、羽黒神子の紅花色、そして錬成行の無垢浄衣の白色などと、羽黒修験に集いし輩(ともがら)の皆様の象徴的な装束色でございます。

獅子奮迅の未来が新たに開けましようとの願いをこめて、守護獣の獅子(守護神)も市松模様とその象徴色も、当法人を中心的に構成する誇りある羽黒山伏の会員の皆様に相応しい、見栄え良くグレードの高いデザイン性に優れた会員章だと存じています。

何卒、出羽三山を訪れる時には勿論、オフィシャルの場でもプライベートの場においても、羽黒修験に集いし輩の集団 一般社団法人出羽三山羽黒山伏会の会員章を胸元や襟元におつけ頂きながら、当法人の設立目的やその具体的な事業をアピールする絶好の機会にしていただければと存じます。

よろしく願いいたします。

羽黒修験に集いし輩の集団 一般社団法人出羽三山羽黒山伏会 本部事務局より

## オリジナル御忌衣 頒価 10,000 円にてご提供中！

頒価でのご提供が多数につき、限定50着製作のオリジナル御忌衣の残数は僅少でございます。

今後、追加製作の場合は、今回ご案内の頒価でのご提供ができない場合がございます。

是非に残着数僅少ご案内の今機会に、ご購入のご決断を頂ければと存じます。



袖無し型／地紋入生地／胸白紐付・背中飾り紐付／正面左襟「一般社団法人 羽黒山伏会」  
正面右襟「出羽三山 羽黒山伏会」会名入り／紺色(秋の峯)・紅色(神子)・白色(錬成)の市松模様別染地／背中央部に羽黒山伏の守護神「大唐獅子」紋柄染め／身丈 76cm 身幅 54cm

## 御忌衣製作の意図

神に祈るための神聖な式服として羽織る衣を「御忌衣（おみごろも・おみのころも）」と呼んでいます。本来、物忌み（断食や節制など）のしるしとされる清浄な上着で、大嘗祭・新嘗祭（いなめさい）などを司る小忌人（おみびと）や神官・女官などが装束の上に羽織るものでございます。

仏教伝来以前の古代日本民族の服装を継承したものと考えられ、袖の端を縫わず水引で結んでいるだけとか、文様が青草の汁をすりつけた「青摺（あおず）」である等の素朴さに自然を敬う神事感が見て取れます。

近年では、一般礼拝者も「ちゃんちゃんこ」のように洋服や着物の上から面倒なく羽織れるよう簡便化され、神社仏閣の例大祭などの行事で着用します。

特に当法人の会員の皆様の場合には、出羽三山への登拝時や出羽三山神社ご参拝時、当法人齋行の定例行事等へのご出席時の正装として着用することは勿論、今後、出羽三山神社の主な祭事行事に当法人会員として参列する機会が格段に増えて参りますこと間違いはございません。

そして各会員在地の産土神社のご祭礼時、大江戸や仙台や福島や山形での羽黒山伏衆の勧進大祈願祭時、また関係する出羽三山講中等への参集時、更に他派修験道の霊山等への参詣時などと、御忌衣を着用する機会に枚挙の暇がございません。斯様に神聖なる式服の御忌衣を羽織る機会が常態になりますことから、当法人が頒価にて提供する今機会に、御忌衣のご準備をお願いできればと存じます。